

平成 29 年度昇段テスト並びにコンクール大会

高槻現代劇場 平成 29 年 4 月 16 日 (日)

《入賞者の歓びの声》

二級の部 優勝

玉造支部◇田脇正枝



この度は二級の部で優勝させて頂き、とても嬉しく思っております。

詩吟を始めたきっかけは、二年前に腹式呼吸をきちんとやりたいなと思い、腹式呼吸を重視する習い事を今年は始めようと思いいネットで検索しました。日中は働いているので夜の時間帯で、かつ家から近く、講師が女性という条件で探しました。すると条件にぴったりの津村緑秀先生のブログがヒットし、失礼ながらブログのコメント欄よりお問合せし、見学に行かせて貰いました。

あまり歴史も知らず、漢詩の読み方もままならず始めましたが、最初に聴かせて頂いた津村緑秀先生の吟がとても素晴らしく、感動しました。また私の拙い吟を先生に褒められるの

が嬉しくて今日に至っています。教室でのお稽古はとても楽しく、また知らなかった事を勉強できる有意義な時間で、大きな声を出すのでお稽古が終ったらスッキリしてストレス解消になっております。子供のときに色々習い事をしましたが、楽しみに思える習い事は初めてです。このまま歳を重ねながら季節や情景、人情を感じる吟を日々学んでいきたいです。

宗家先生や諸先生、先輩方とのご縁も感謝しています。これからも末永くご指導の程、宜しくお願い申し上げます。

これからも末永くご指導の程、宜しくお願い申し上げます。

三段の部 優勝

曙支部◇吉川 勲



この度、幸いにも昇段テスト三段の部で優勝の栄に欲しましたこと誠に有り難く感謝しております。これも偏り

教室のよき諸先輩、仲間にも恵まれ、ここまで切磋琢磨しながら挫折することなく続ける事が出来たお陰だと喜んでおります。

宮原緑晃先生の懇切丁寧なご指導、叱咤激励があったからこそその結果だと思っております。

振り返れば、趣味がアウトドア系で山歩き、写真を長年続けていたが、宮原緑晃先生との出会いがあったが、初めて詩吟を習い始めました。それも古希を迎えてからの人生初めての習い事です。今、7年目に入りました。当初、漢詩は学生時代に少し接した程度で全く自信はありませんでした。

しかし、詩吟を吟じる事で、吟題が歴史上の人物であったりすると、興味が沸き、人物像や生まれた背景など色々と調べたくなります。これも詩吟の持つ大きな魅力かと自分なりに考えています。

今回の受賞に至る過程で幾つかの大会で一字の誤読や絶句で失敗があり、宮原緑晃先生から「癖になるぞ」と言われたことがあります。この時、吟じるときに心構え、集中力、漢詩の理解度を深めることの大切さを痛感しました。今「練習はうそをつかない」を実感しております。

年齢的なこともあります。これからも体力が続くかぎり詩吟を吟じていきたく思っております。今後ともご指導よろしくお願い致します。

29年度昇段テスト並びにコンクール大会成績

〈新人の部〉

〈五段の部〉

優勝 西岡 大輝

優勝 加藤 緑絆

準優勝 安岡 節也

準優勝 浅野 緑昇

準々優勝 野田 侑吾

準々優勝 青野 緑飛

二級の部

上位入賞 片山 緑都

優勝 田脇 正枝

上位入賞 辻 緑鯉

二級の部

上位入賞 安田 緑風

優勝 山本 宗人

上位入賞 團 緑佳

初段の部

上位入賞 西部 緑楠

優勝 該当者なし

六段の部

二段の部

優勝 西岡 緑優

優勝 久徳 佳子

準優勝 宮内 緑郷

準優勝 川上 昇

準々優勝 加賀山 緑豊

準々優勝 小柳 俊彦

上位入賞 島田 緑聲

三段の部

上位入賞 津村 緑秀

優勝 吉川 勲

上位入賞 中塚 緑庵

四段の部

七段・上師範の部

優勝 徳岡 江翔

優勝 木下 緑鋒

準優勝 神崎 雅翔

準優勝 福永 緑獅

準々優勝 福本 瑞翔

準々優勝 大岩 緑園

上位入賞 加賀 梢高

特別表彰

上位入賞 河江 耀翔

最高齢者 岸 緑汀

平成29年度昇格者並びに六段・新緑号取得者



六段
青野 緑 飛



六段
浅野 緑 昇



七段上席師範
津村 緑 秀



八段総師範
井内 緑 叡



福本 緑 邦



辻 緑 芳



河江 緑 耀

《新緑号》

吉川 勲晃	安田 啓叡	牧 里叡	西尾 音叡	雅 号
勲	啓三	千里	康子	名前
曙	五領	川西	井内 緑叡	支部 担当師範
宮原 緑晃				

《四段 新担当師範号取得者》

名刺交換会

平成二十九年度上位昇段・昇格者及び新緑号名刺交換会が、六月二十七日（火）午後八時より十三福祉会館で行われました。



日々是好日

最高齢者表彰

甲南山手支部◇岸 緑汀

私達の教室は季節はずれに鳴く老いのうぐいすと、開港百五十年を迎えた神戸港を見下ろす六甲山の麓にあります。



平成二十七年年度緑崇流「昇段テスト並びにコンクール」出吟者最高齢者表彰受賞の藤江緑令は「青葉の笛」が大好き。二十八年年度表彰者の角緑渉、吟で鍛えた「南京玉すだれ」の口上は絶品でした。二十九年年度表彰者として私が名前を呼ばれびつくりしました。

光陰矢の如し、幾歲月恩師と佳き友がいて継続があり、三年連続表彰の奇蹟に面映く万感の思いで一杯です。

心より感謝申し上げます。

私自身「書」と「詩吟」の出会いには挑戦と挫折の繰り返し、今生かされています。会創立十周年記念大会での書道吟の舞台は若き日の感動深い喜びでした。和の伝統文化「吟」の残響は、慈母観音の如く私の心を癒してくれました。杜牧や杜甫の詩の情愛が、愛に飢えた人間に潤いや彩りを添えて教えてくれます。

これからも自分磨きを忘れず、よき日明日に、又一步踏み出そうと思えます。緑崇流吟道緑水吟詠会宗家先生、皆様のご隆盛をお祈り申し上げます。ありがとうございます。

八段・総師範を戴いて

みつわ支部◇井内緑叡

この度、八段総師範と身にあまりお免許を戴きまして、本当にありがとうございます。

宗家箕輪緑崇先生・渡辺緑翔先生・諸先生方のお陰様と感謝申しあげます。そして何よりも長年ご指導を戴き、詩吟との出会いを下さいました故白波瀬緑齋先生に心から深くお礼を申し上げます。

白波瀬緑齋先生はご体調のすぐれない時期に、教室で私に代理で稽古を、とおっしゃって隣にお座りになり「もっと大きな声で！」等色々私に師範として自信を持てるようにとのご指導もして下さいました。

今はまだまだご期待に添えさせて戴いていませんが、教室の皆様にかけて戴きながら、白波瀬緑齋先生のお気持ちを大切に、教室を大事に守って参りたいと思っております。

まだまだ未熟な私ではございますが健康で詩吟を続けさせて戴ける事に感謝をして精進致しますので、今後共、何とぞよろしくお願い申し上げます。ありがとうございます。



上席師範を戴いて

南方支部◇津村緑秀

この度、上席師範を頂戴しましたこと、身に余る光栄に存じます。まだまだ未熟者な私が戴いて本当に良いものかと困惑しております。また、当流派内の大会において、チャレンジャーという立場でいたかった気持ちもあり、少し残念です・・・。

「詩吟」という世界を色んな人を知ってもらいたいという思いで、友人の結婚式で吟じたり、詩吟の話をあちらこちらでしているうちに、詩吟教室を開くことができ、生徒も集まり、にぎやかな詩吟教室の講師として日々邁進しております。

指導方法は、私の担当講師の渡辺緑翔先生の指導方法をそっくりそのままマネして指導しております(笑)。なので生徒のみなさんが上達するのが早く、指導者としての喜びを感じております。

上席師範一年生。ここからまた、新たな勉強が始まりました。

今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



六段の認可証を戴いて

笑栄支部◇浅野緑昇

この度、六段の認可証を戴きありがとうございました。感謝しております。

これもひとえに担当講師の渡辺緑翔先生の厳しくも温かいご指導の賜物と心より感謝致しております。

思い起こせば二十五年前の緑号大会に外野として参加させて頂き、会員の皆様の国歌斉唱、会詩合吟に魂を揺さ振られ、即入会を決意した事をまるで昨日の様に思い出します。もう二十年もたった事に、三日坊主の私にしては信じられない思いですが、これこそが詩吟の魅力だと思っています。

入会後の日々は仕事との両立に悩みながらも通った先輩方との稽古は、詩吟の魅力に取りつかれた様で忙しい中に活力を貰える時間でした。ただ才能が無いのか良い成績は残せませんでした。が、充実した楽しい時でした。

ただリタイヤしてからはアフターの方に重点が移り、自身の不甲斐無さに嘆息する日々となっておりますが、今回六段の認可を戴き、これを契機に一念発起「初心忘るべからず」の心境に戻り、老い先短い身では有りますが、生有る限り頑張ってみようと思っております。

宗家先生、諸先生方、会員の皆様方、

今後共ご指導戴けます様、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

緑号を戴いて

ゆる友支部◇辻 緑芳

この度、緑号を戴く事になり大変有難く身のひきしまる思いでございます。ここまで来れましたのも、渡辺緑翔先生の熱心なご指導のお陰はもちろの事、諸先生方、先輩方のお陰と深く感謝し心よりお礼申し上げます。

吟を学ぶにつれ、たった四行の詩の中に難しさ、奥の深さを感じていますと共に、良い趣味に出合えた事に今さらながら感謝しております。

緑崇流の中には、各大会で素晴らしい成績を残しておられる多くの方がおられます。その中で一緒に学ばせて頂いている事にも、喜びと幸福を感じて本当に嬉しく有難い事だと思っております。

私の好きな言葉の一つに「老いはみんなに訪れるけれど、成長は望む人しか訪れない」と、イギリスの八十九才に成る今もなお、現役のモデルで活躍なさっている方の言葉です。この言葉を胸に、私も自分なりに努力して、少しづつでも前進し、成長できるよう頑張って参りたいと思っております。

これからもどうぞよろしくお願致します。

第42回 府連出場者決定兼競吟大会

高槻現代劇場 平成 30 年 1 月 7 日 (日)



入	入	入	入	入	入	上	上	上	上	上	五	四	準	準	優
賞	賞	賞	賞	賞	賞	位	位	位	位	位	位	位	々	々	優
奥	辻	矢	山	遠	廣	神	團	金	垂	田	福	辻	徳	木	青
村	部	部	本	藤	瀬	崎	幸	田	水	中	永	孝	岡	下	野
雅	悦	加	宗	靖	さ	安	和	和	時	紀	直	孝	知	真	治
生	子	子	人	子	子	雅	彦	彦	子	子	人	彦	江	次	子

府連出場者決定兼
競吟大会成績

第42回 緑号・師範之部競吟大会

高槻現代劇場 平成 30 年 2 月 11 日 (祝)



入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	上	上	上	上	上	五	四	準	準	優												
賞	賞	賞	賞	賞	賞	賞	賞	賞	賞	賞	賞	賞	賞	賞	賞	賞	位	位	勝	勝	勝											
松	米	木	福	辻	赤	西	津	中	若	若	柴	西	辻	松	福	村	團	舟	奥	吉	福	石	島	片	木	浅	島	青	松	加		
野	内	田	原	本	川	岡	村	山	杉	杉	田	中	部	永	本	上	根	村	田	永	田	永	川	田	山	下	野	田	野	本	藤	
緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑
煽	観	海	侑	景	樟	瑛	春	胤	山	高	翁	夢	楠	芳	永	邦	真	佳	朱	星	外	獅	誓	聲	都	鋒	昇	皓	飛	遥	絆	

緑号・師範之部
競吟大会成績

第四十六回日本クラウン全国 吟詠コンクール入賞を戴いて

日時 平成29年10月15日(日)
場所 日本教育会館一ツ橋ホール
南方支部◇津村 緑秀

この度、クラウン全国吟詠コンクール決勝大会に於きまして、入賞させて頂く事ができ、胸をなでおろす思いでございます。本当にありがとうございます。

平成二十二年初めてクラウン全国大会へ行きました。その時は、全国のレベルを思い知らされ、肩を落として帰ってきました。それから鳴かず飛ばさずで、近畿予選の決勝において、同点でじゃんけんで負けたりと、なかなか全国大会へ行くことが出来ず、昨年ようやく、全国大会へ行くことができました。決勝に進むことが出来たものの、決勝の舞台では思うような吟が出来ずあえなく撃沈。しかし、シード権を得られたので、この一年はずうっとクラウンへ向けての調整でした。もう後がない受験生の気持ちでした。

仕事が忙しく、疲れも溜まっていたのですが、行きの新幹線と宿泊先のホテルでぐっすり眠れたおかげか、当日は体調がよく、昨年ほどの緊張もなく吟じることが出来ました。



当日、良い結果が生まれる吟が出来たのも、応援に宗家先生、渡辺緑翔先生が来て下さったおかげと、両親も一緒に来てくれたおかげです。

そして、今まであきらめず、頑張つて来られたのも、当会の皆さんの応援のおかげです。

本当にありがとうございます

まだまだ未熟者で、私一人では何も成し遂げることが出来ません。今後も頑張つて参りますので、どうぞ、皆様方のお力添えくださいますようお願い申し上げます。

恩師に感謝 一步前進を誓う

淡路トマト支部◇石川 緑誓

この度は第四十六回クラウン全国吟詠決選大会において入選させて頂き、大変有難うございました。私は四十回記念の大会より今年で六度目の全国大会に挑戦させて頂き、宗家箕輪緑崇先生、渡辺緑翔先生には幾度となく東京まで足を運んで頂き励まして下さったにもかかわらず、自分の力のなさを思い大変心苦しかったのですが、やっと喜んで頂く事が出来ました。

今まで支えて頂いた宗家箕輪緑崇先生、ご指導頂いた渡辺緑翔先生、そして先輩の先生方、教室の皆様の励ましに力を頂いたおかげだと感謝致しております。

これから先、クラウン吟友会の一員として、私にとりましては未知の世界でございます。不安ばかりの日々ですが、吟友会の大先輩の皆様方の吟詠、また姿を通して勉強させて頂くことを楽しみに、自分に厳しく一歩前進していくことを強く心に誓って、皆様に感動を届けられませう。精進して参りますので、諸先生の皆様、諸先輩の皆様、ご指導下さいます様お願い申し上げます。

第四十一回全国吟詠コンクール 大阪府北連合大会

(二般二部) 優勝の歓び

日時 平成29年4月2日(日)
場所 池田市民文化会館

みつわ支部◇宮内 緑郷

この度、大阪府北連合大会に於きまして、優勝と言う栄えある賞を頂きました。これもひとえに、宗家箕輪緑崇先生、渡辺緑翔先生を始め、多くの先生方の厳しいご指導の賜物であります。ありがとうございます。

公園のさくらも満開の頃、高槻出身の藤井竹外作「海を望む」でチャレンジし、「晴れひらくウーウ」に注意して吟じました。この荣誉に恥じないよう、今後共、努力して参る所存であります。



第四十五回高槻市吟剣詩舞道 決勝大会 連吟の部 優勝

日時 平成29年11月3日(祝)
場所 高槻市現代劇場

川西支部◇島田久美・大海告子



この度は、連吟の部で優勝という栄誉ある賞を戴く事ができ、大変

嬉しく思います。井内緑叡先生の「今年もお陰と感謝申し上げます。そして、快くペアになつて下さった島田緑皓さんにお礼を申し上げます。

昨年は私の失敗で準優勝でしたのでプレッシャーがありました。独吟の時は自分だけなので、又次回に頑張ろうで済みますが、二人での連吟は、失敗したら島田緑皓さんに申し訳ない、どうしようと思うばかりでした。でも今年も挑戦させて戴く事が出来ました。出番を待っている時は「又失敗するのでは」と胸の鼓動は、はりさけそう、喉はカラカラ、いよいよ出番です。足の震えが止まらず、どんな吟をしたのかも分からず舞台から降りて来ました。

いよいよ結果発表です。優勝として

名前を呼ばれた時は、思わず大きい声で「ヤッター」と叫んだ様な気がします。本当に嬉しかったです。井内緑叡先生、先輩、教室の皆様、ありがとうございます。今後は一層努力、練習に努めたいと思います。 文 大海告子

高槻市吟剣詩舞道連盟バスツアー

〜楠正成のゆかりの社寺を訪ねて〜

日時 平成29年10月4日(水)



朝から、好天に恵まれ、八時半JR高槻駅を出発した「吟行会」一行は、楠正行(桜井の訣れでも有名)を祀った四条暇神社をめぐりました。

楠正行は、小楠公さんと呼ばれ、本宮三香の「小楠公の母を詠ず」で言われている通り、「忠孝両全小楠公」であり、情に深く、知勇に優れた人でした。昼食を、がんこ平野郷屋敷で済ませる

と、富田林の楠なんびあん庵いん観音寺に到着。紅葉のきれいなお寺で「南朝の烈婦」と詠われた正成の妻、久子が、夫と息子が戦死後に出家して菩提を弔ったところでした。

さて、いよいよ河内長野市にある檜尾山観心寺です。楠正成の学問所があったところで、後醍醐天皇は楠正成を厚く扱われ金堂を造られた。神戸湊川の戦いで討ち死にした正成は、当寺に届けられ首塚に葬られました。

皆さんは楠公についてさすがに良くご存じで、各所で合吟が飛び出し、懐かしんでおられました。楠公の教えを想いつつ帰路につきました。

記 宮内緑郷

高槻市吟剣詩舞道連盟 四十五周年祝賀会開催

日時 平成29年11月3日(金)
場所 マリアージュ
レセプションルーム

十一月三日(文化の日)。恒例の「高槻市文化祭」に参加し、高槻市吟剣詩舞道連盟は、高槻市現代劇場にて「決勝大会」を開催し、会員の熱唱に沸きました。

その後、会場をマリアージュに移し、高槻市長を始め、市議会議長、教育委員長、生活部長の来賓をお迎えして連盟

創立四十五周年を記念して、祝賀会が開催されました。

当連盟会長宮原緑晃先生の「こころをつなごう愛吟尊和」を合言葉に、更に前進する事を誓い合いました。懇親会では、津軽三味線の徳田恵美さんや、遙ゆきさん(当会の松本緑遥先生)の素晴らしい演奏や歌が披露されました。

新支部紹介

京口支部

担当講師 松本緑遥



渡辺緑翔先生のお薦めを頂き平成三十年という最終年号に教室を発足させて頂きました。

老いも若きもこれから吟を楽しみながら勉強して参りたいと思います。

どうぞよろしくご指導賜りますようお願い申し上げます。

講習日 毎週金曜日 自宅にて
第一・三週 午後六時三十分〜八時
第二・四週 午後二時〜四時

箕面市「敬老の集い」
催し物に参加!

日時 平成29年10月8日(日)
場所 箕面グリーンホール



この度、箕面市から、辻緑樟先生に、「敬老の集い」の催し物に詩吟で参加して下さ

い」との要請があり、辻緑樟先生と、松本緑遙先生と、宮内緑郷の3人が参加しました。式典には、箕面市長も出席され、お祝いされました。催し物は、詩吟から始まり、フラダンス、ポップス、カラオケ、阿波踊りで、大いに盛り上がりました。会場には、約500人が集まり、和気あいあいとした中に、お年寄りの穏やかな笑顔がとても印象的でした。来場者からは、「詩吟は、上品で力強く、背筋がピンと伸びました」との感想でした。もっと詩吟を聴いて頂けるような機会を増やしていきたいと思っております。

記 宮内緑郷

第三十五回生駒市邦楽邦舞
名流会に参加して

治宮支部◇木原緑侖

毎年開催される生駒市邦楽邦舞名流会に、今年も六月十八日に参加させて頂きました。生駒市は芸能の盛んな土地柄でこの名流会はとても権威があり参加のお声が掛ったのは、クラウンレコードに入賞させて頂いた頃だったと記憶しております。

邦楽邦舞全般に及び中でも日本舞踊はその舞台への意気込みは、私の様な者が同じ舞台を踏ませて頂いて良いものだろうか、と、気後れるほどでした。決して謙つて「私など」と言う態度は取らないで堂々として臨んで下さいとの事で、とにかく失敗をしない様に一生懸命頑張つて参りました。

今年「川中島」の地吟と和歌で「北風吹かば」の二題を吟じさせて頂きました。お陰様で沢山の拍手を頂く事ができました。もっともっとと精進して皆様に喜んで頂ける様に今後も頑張つて参りたいと思っております。



第六十四回生駒市文化祭に
参加して

秋篠支部◇矢部加代子

私達が住んでいる生駒では文化祭が十一月十九日に行われました。

この文化祭は毎年十一月に行われ「邦楽邦舞発表会」として、日本舞踊、創作舞踊、大正琴、尺八、詩吟等があり私達秋篠支部では今年も参加し、「児島高德桜樹に書するの図に題す」を五人で吟じました。

吟じる事になれば作者の齊藤監物は神社の神官だったとか、背が高かったんだなあーとか、又お酒も強い人だったんだなあ…。その様な事を思いながら吟じました。吟じ方は一行一行の頭を一人づつ吟じた後、五人で合吟しました。

詩吟をしていて思うのですが昔の私たちは、「天皇の為」、「自分の師の為」我が身を惜しまず、守り通された方々が沢山いらしたのだなあと思います。私達は昔の方々のお心をしっかりと見つめ直し詩吟を吟じようと思えました。



高槻城築城四〇〇年祭共催
藤井竹外生誕二二〇年
記念の集い

日時 平成29年12月16日(土)
場所 高槻現代劇場 3階
レセプションルーム

高槻市吟剣詩舞道連盟は、高槻観光協会と共催して(主催高槻遺産顕彰会)、来賓に、高槻市長をはじめ、市議会議長、教育委員長、文化部長をお迎えし、総勢150名で、盛大に開催致しました。

第一部は、記念講演として、高槻しろあと歴史館の特別館長による「築城400年について」や、学芸員による「藤井竹外の生涯とその作品」は、皆さんが目を輝かせて聞き入る程の内容でした。

また第二部は、「藤井竹外奉賛全国吟詠大会の歴代優勝者による吟詠」が披露されました。特に緑崇流からは、井内緑叡先生、松本緑遙先生、加藤緑絆さんの3人が出吟し喝采を受けました。

記 宮内緑郷



第四回 井内緑叡おさらい会 曙支部も参加

日時 平成29年12月17日(日)
場所 五領公民館

五領支部◇奥村緑星

今年も恒例行事となった井内緑叡先生の門下生を中心におさらい会が始まりました。今回は曙支部の皆さんも参加を戴きました。

初吟、府連の課題吟の部は本番と同じ様に吟者は司会の呼び出しでマイ



クに近づき調整、次の吟者も待機席で出吟準備する等の動作を確認しました。吟剣の課題吟その他の部では吟じ終わった後に、曙支部の宮原緑晃先生から一人一人に貴重な講評を戴きました。年明けからの大会では講評を胸に練習を行い少しでも進歩した吟が出来たと思います。

最後は故白波瀬緑翁先生のリサイタルのCDと一緒に武田節を合吟して幕にぎやかに、あつという間の楽しい時間でした。

高槻に移動し、「合同忘年会」へと展開、小谷緑楓先生の乾杯で始まり活躍したメンバーに井内緑叡先生から記念品を頂き、各自メンバーで反省、抱負等の交流を図り、宮原緑晃先生に締め言葉の言葉を戴き、「来年の躍進」を祈りつつ散会しました。

【新森支部】 年の瀬に夢の競演！

日時 平成29年12月9日(土)
場所 心斎橋小さな結婚式 大阪堀江店
新森支部◇田中緑夢

私達は年の瀬間近の十二月九日、先代の宗家先生の伴奏を、お琴でされていた松野緑扇先生の妹さんのお誘いで、発表の場を戴きました。

九月の淀川・東淀川競吟大会が済め



ば、発表の機会がない新森支部の私達です。でも、今年の違いは...。

円熟したお琴、フルト演奏を、間近で目にする事はめったにありません。観客は演者、家族、友人たちの総勢五十名。吟じるマイクの一メートル先に顔、顔、顔。普段の大会でもこんなに迫っていないのに...！

好きな吟を一題選び、目の前の顔を見ないよう頑張りました。出来ばえは？ さあ？先生の不安そうな顔を見ると...！？

おさらい会と言えば、もっと詩吟づくめなのですが、今回は、一吟一つの発表でした。けれどお琴の演奏を目の前にして『こんな伴奏で、詩吟が出来れば！』と厚かましくも夢見たのは私だけ？ いいえ、他の皆もきつと思ひ浮かべたに違いありません。

和やかな雰囲気その場は、お互いへの心配り、お稽古に向かう厳しさと、家族の理解、そんな一面がうかがえた貴重なひとときでした。

愛国詩吟連盟結成八十周年記念 全国吟剣詩舞道大会

日時 平成29年11月19日(日)
場所 尼崎市総合文化センター
あましんアルカイックホール

愛国詩吟連盟主催で加盟十六府県連盟役員参加のもと結成八十周年の記念大会が盛大に行われました。

中でも府県別代表合吟コンクールでは大阪府男子が三位、大阪府女子は四位の成績でした。当会からは男子、宮内緑郷、福永緑獅、女子は井内緑叡、島田緑聲が出演されました。(優勝兵庫県女子、二位兵庫県男子)

また、歴代第一部・第二部吟士権者による企画構成番組「英雄達の詩聚吟」には平成四年第一部・七年第二部吟士権者西岡緑優が出演されました。

(敬称略)



第二十五回 渡辺緑翔門下温習会

日時 平成29年12月3日(日)
場所 プラザオーサカ19階「淀の間」
十三北野支部◇徳岡江翔

日ごとに寒さが増し冬本番へと向かう頃、大阪平野を一望できる最上階の会場で「温習会」が開催されました。

和気あいあいとした雰囲気の中、一人ひとりが日頃の練習の成果を発表。宗家先生をはじめ、ご来賓の先生方にも吟で花を添えていただきました。また、日本クラウン全国吟詠コンクール決選大会で見事入賞された津村真紀さん、石川洋子さんの美しい吟詠には皆うっとり。フレッシュな顔ぶれが仲間入りした玉造教室をはじめ、各支部の新人さんの自己紹介には期待を込めた大きな拍手がわき起こりました。

さて、クライマックスは節目を迎えた四つの支部による楽しい余興。五十周年(渡辺先生が担当して六周年)の南方支部は全員が白虎隊に扮し、津村典子さんが剣舞を披露。十周年のゆる友支部は小学校の生徒と先生の掛け合いミニコント。同じく十周年の瑞光支部は息もぴたりなフラダンスを。

四十周年(渡辺先生が担当)になって十周年を迎えたクローバー支部は時代劇!清水次郎長、森の石松、チャッ

キリ娘が練り歩き、会場は大いに盛り上がりました。このように脈々と受け継がれてきた「緑崇流ism」を絶やすことなく、渡辺緑翔先生のもと、ますます精進しなければと改めて思った一日でした。



瑞光北支部



南方支部



クローバー支部



ゆる友支部

お花に元気貰う



アレンジフラワーに縁があったのは、今から三十年程前になります。娘が、高校生の時、同級生のお母さんと保護者会で度々お会いする内に、アレンジフラワーの講師をしておられることを知り、誘われるまま、お稽古に参加する様になりました。

今迄知らなかったお花の名前、形、活ける人の性格、体調がそのままお花の活け具合に現れることを知りました。

「お花の力って凄いなあー。そして元気も貰えると感じました。」

アレンジフラワーの教室を開いて十五年になります。毎年十一月に生涯学習の生徒さんと東淀川区役所にて、発表会に出席をして日頃の成果を一般の方々に見て頂いています。お稽古が終ると、お茶、おやつを頂き楽しいお話に花が咲きます。

趣味とはいえませんが、近くの小学校で、放課後、指導員として

瑞光北支部◇加賀梢高

行っています。一年生から六年生までの児童が集まってきました。いろんな事情により、すぐに帰宅できず最終六時までお預かりしています。子供達の明るい笑顔とパワーにこの仕事を頂いた事に感謝です。アレンジフラワー教室、そして詩吟と一層の努力と精進して参ります。ありがとうございます。



(本人) 後列中央



“吟は厳しく 会は楽しく”

今年度も会員相互の親睦を兼ねて、春と秋にハイキングが行われました。(自由参加)

楽しかった武田尾廃線跡ハイキング

「春季ハイキング」は南方支部の神崎雅翔さんが会員に呼び掛け、平成二十九年五月七日に開催されました。当日は快晴。絶好のハイキング日和。集合場所のJR西宮名塩駅に午前十時に三十二名の参加者が集い、武田尾駅までの約7キロのコースをいざ出発！冒険心もあり胸をワクワクさせながら十五分程歩くと廃線跡ハイキングコースの入り口に到着しました。

昭和六十一年に廃線した線路跡は所々に枕木が残っており、右手にはずっと渓谷が続き、とんでもない巨岩が転がっている渓流と対岸の新緑の山は鮮やかで目を楽しませてくれました。しばらく進むと最初のトンネルが目に入ってきた。そこで集合記念写真を撮りました。

それから懐中電灯を取り出し、いざトンネルの中へ！暗い足元には所々に枕木が残り、碎石(バラス)があるので歩きにくい。足元を取らないように気を付けながら進み、ふと天井へライトを向けると、レングで出来たアーチの天井に汽車が走っていた名残の煤が黒くこびりつ

いていました。また、所々壁や天井から水が出ていて水溜りが出来ているところもあり、足元に注意しながら歩きました。トンネルの中では懐中電灯の光がホタルの灯りのように美しく感じました。

トンネルは短いものもあるが、長いものの中に緩やかにカーブしているものもありました。数個のトンネルを抜けるとトンネルの出口に朱色の鉄橋が姿を現しました。鉄橋に設けられたハイキング用の歩道を歩き渡りました。次のトンネルを抜けると川幅が大きくなり、それまでの風景とは少し変わり川面に降りられる広場があり多くのハイカーが昼食や休憩をしていました。



廃線跡区間が終わり県道へ出て武田尾駅まで歩き、そこから伊丹駅まで電車で移動し「白雪 長寿蔵」

という居酒屋風の店で全員生ビールで乾杯しました。

昼食を取り、その後三々五々解散となりました。

このような野外活動に参加することも緑崇魂を強くする行事であると思いますのでこれからも続けてほしいと思います。

今回のハイキングを計画して下さった神崎さんに感謝いたします。

次回の「秋季ハイキング」を期待しています。 文 宮原緑晃

秋のハイキング

満願寺周辺

十二月十二日、日曜日春の武田尾トンネルハイイクに続き、渡辺緑翔先生はじめ八人のメンバーで川西市に有る満願寺に行ってきました。

阪急宝塚線の山本駅を十時三十分頃出発しました。山本は植木屋の多いところです。道端の植木を見ながら二十分ほど歩くとパワースポット山本のお不動尊の大きな山門に到着。そこから一〇分程歩き滝に到着、この滝は最明寺の滝といわれています。鎌倉時代からの由緒ある行場です。今は滝に打たれることはできませんがその歴史は存分に感じ

ることが出来ます。そこで少しの休憩を取り山門まで折り返して、目的地満願寺までまた少しの紅葉の中を坂道、階段等を登りながら歩きました。



途中滝の上に有るお不動尊にもお詣りしました。そこから山道を抜けて昼食をとる異酒店に到着、お店の協力を得てテーブルの上にバーベキューコンロをセット、そして自然豊かな空のもと美味しく楽しいバーベキュー大会をしました。一時して新西国第十三番霊場満願寺にお詣りし、また坂田金時の墓にもお参りしました。

メンバー全員ケガも無く紅葉の景色そして少し汗をかいて美味しい食事をして本当に楽しい一日を過ごしました。この次も楽しいハイキングをしたいと願っております。満願寺から一同阪急バスで帰路に着きました。 文 神崎雅翔

ニューズ東西南北

大会記録

〈大阪府吟剣詩舞道総連盟〉
 第41回全国吟詠コンクール大阪府北連合大会
 一般二部
 〈決勝進出〉優勝 宮内幸夫
 一般三部
 〈決勝進出〉
 3位 米田宇一 4位 木原恵子
 8位 松野節子
 第41回全国吟詠コンクール大阪府大会
 幼年の部
 〈上位入賞〉西岡大輝
 一般一部
 〈上位入賞〉津村真紀
 一般二部
 〈上位入賞〉西岡悦子・井内鈴子
 一般三部
 〈決勝進出〉〈上位入賞〉木原恵子
 〈上位入賞〉石川洋子・福本 侑・松野節子
 第41回全国吟詠コンクール近畿決勝大会
 一般二部〈入賞〉西岡悦子
 〈大阪府詩吟連盟〉
 第7回全国ジュニア・シニア吟士権大会
 (ジュニアの部)
 〈決勝進出〉 9位 西岡大輝

(シニアの部)
 〈決勝進出〉13位 福本早苗 14位 奥村雅生
 〈上位入賞〉中山孝彦(愛連出場資格者)
 第59回第一部吟士権者決定詩吟大会
 (一般の部)
 〈決勝進出〉12位 加藤恭子
 〈上位入賞〉 島田久美・青野治子・宮内幸夫
 石川洋子・津村真紀
 第59回第二部吟士権者決定詩吟大会
 (指導者の部)
 〈決勝進出〉5位 西岡緑春
 〈上位入賞〉 松野緑焔・若杉緑高・辻 緑樟
 〈愛国詩吟総連盟〉
 第9回全国ジュニア・シニア燦燦優勝者決定詩吟大会
 〈入賞〉 中山孝彦・福本早苗・西岡大輝
 第72回第一部吟士権者決定詩吟大会
 (一般の部)
 〈入賞〉津村真紀・加藤恭子・宮内幸夫
 第72回第二部吟士権者決定詩吟大会
 (指導者の部)
 〈入賞〉西岡悦子
 〈日本クラウン株式会社〉
 第46回クラウン全国吟詠コンクール近畿大会
 〈入賞〉井内鈴子・石川洋子・島田久美
 〈シード権〉津村真紀

第45回クラウン全国吟詠コンクール決勝大会
 〈入賞〉石川洋子・津村真紀
 〈淀川・東淀川詩吟連盟〉
 淀川 詩吟連盟第43回吟士権者決定詩吟大会
 東淀川
 幼年の部〈奨励賞〉西岡大輝
 一般一部〈決勝進出〉準々優勝 徳岡知江子
 一般二部〈決勝進出〉準々優勝 矢部加代子
 5位 安田厚子
 一般三部〈決勝進出〉準優勝 福本 侑
 6位 西部重世
 〈上位入賞〉田中紀子・團 幸子
 〈高槻市吟剣詩舞道連盟〉
 第45回高槻市吟剣詩舞道決勝大会
 独吟の部 一部 3位 中塚宏輝
 独吟の部 二部
 〈決勝進出〉6位 島田喜久子
 独吟の部 三部
 〈決勝進出〉4位 奥村雅生
 連吟の部
 優 勝 島田久美・大海告子
 第9回藤井竹外奉賛全国吟詠大会
 〈決勝進出〉4位 宮内幸夫
 〈上位入賞〉中塚宏輝・木下真次
 津村真紀・島田久美



西岡緑優



渡辺緑翔



西岡緑春
(後列右より二人目)

第八回 愛連吟詠フェスティバル

優秀者吟詠

〈当会の出演者〉

渡辺緑翔(大阪選抜)

構成番組

ここに残る日本名吟抄

第一部「先哲の名詩を吟う」

第二部「美わしき国の山河を吟う」

〈当会の出演者〉

西岡緑春 西岡緑優

(敬称略)

第31回 関西クラウン吟詠家 ジョイントリサیتال

企画構成番組(二部構成)

わが心わが懐い

いのちを吟ず

様々な「生老病死」を吟ずる

〈当会の出演者〉

渡辺緑翔 辻 緑樟 宮原緑晃

宮内緑郷 西岡緑春 西岡緑優

木原緑侑 加藤緑絆

(敬称略 出演順)

【編集後記】

平成二十五年に編集委員に任命を賜り、五年間の歳月は矢の如く過ぎ去り、会報に関して何のお役にも立てなかった様に思われますが、私にとっては貴重な経験をさせて頂きました。委員になって、今まで知らなかった緑崇流のルーツや、先生方の若かりし日の活躍を知る事ができました。本当に感謝の言葉しか思い浮かびません。

最後に緑崇流と編集局のますますのご発展をお祈りして、お礼とさせて頂きます。有難うございました。(團 緑佳)

編集局の要として働いていただき、ありがとうございました。絶妙の筆タッチで紀行文など、すばらしい功績を残されました。これからもその経験を活かしてご協力のほどよろしく願います。(編集長)